

きかんだっくびる
季鴨嘴
第6号 2011年秋



第6号 2011年秋

2011年立秋(8月8日)発行
古書 **Duckbill** (ダックビル)
石川県金沢市福富町ヌ 103 番地
電話/FAX 076-214-5950
メール info@duckbill.co.jp
http://www.duckbill.co.jp/

福野アミューで古書即売会

国内有数のワールドミュージック・フェスティバル「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」の熱気も去った福野の晩夏、寂しさを紛らすイベントといえば、ショッピングセンター「アミュー」の古書即売会です。そうです、わたしたちのことです。入り口入ってすぐの、広く見渡せる会場にならぶは様々な本。即売会らしい即売会です。8月25日から29日まで開催。どうぞお帰りにはスーパーでお買い物もして、家族の方に喜ばれましょう。

玉川町に眠るダルマたち

「まち一番のコレクター」と言われる方が、先日当店にご来訪くださいました。蒐集管理や家族の支持を得難いといったご苦勞は、皆様に共通するお悩みです。「でも私は本の上にさらにモノもあるから」とお客様。「たとえばダルマ。マトリョーシカだって、日本の入れ子人形が先祖ですからね、ダルマと関わっているんですよ」。楽しく伺えばこちらも急にダ

ルマ熱沸騰。「見たいの? 寄贈して今はこども図書館にありますよ」。公開の希望を申し入れなくては、と思いましたが。図書館や文学館には、見たことのないすばらしいものが、たくさん所蔵されているものです。宝物のあれこれ、暗い収蔵庫でみんな元気にしているのでしょうか。

思いついて、「カルタも集められたでしょう」とお訊ねすれば、「いろはかるただけでも20はありますね、それにあれやこれや」。「蒐集はね、コマも」ハイ、「人形も」ハイ、「いわゆる郷土玩具全般」ナルホド、「引札も」ヤッパリ。こうなるとまるで餅つきの合の手のようなのです。

「あと地元同人誌やミニコミも」と言われましたので、ハイ、ではどうぞ。喜んで当冊子をお持ちいただきました。

重厚なインタビュー

今号の「地元読書会探訪」は長編になりました。レイバーフェスタ2010では「濱口國雄の詩」という3分映像作品が審査員賞受賞作を受賞。こちらはウェブ検索で見ることができます。

古本買います。お引越しや蔵書整理の際はご連絡ください。出張いたします。

哲学・思想・宗教・歴史・社会科学・地理・民俗学、自然科学、

建築・美術・図録・音楽・映画・絵本・児童書、文学

古書 Duckbill (ダックビル)

電話・FAX: 076-214-5950 メール: info@duckbill.co.jp

営業時間: 10-18時 火・水休(ご来店前にはなるべくお電話を)

地元読書界探訪◆ 5

詩の同人誌「笛」の50年

「笛」同人 井崎外枝子さんに聞く (聞き手/Duckbill 杏藤紫)

「笛」は1961年の創刊だから、今年50周年。たまたま今秋11月23日に東京で「いま濱口国雄を語る」という催しがありますが、一昨年発行の複製版『新編濱口国雄詩集』以来、金沢・福井ほかで、シンポジウムなどいろいろな動きがありました。とうとう東京にまで、と思うと感無量です。当日は濱口さんを直接知る人、関心のある人が一堂に集まることでしょう。めったに会える方たちではないので、期待が大きいですね。

濱口さんは1946年に引き揚げ後、翌年国鉄に就職して、関西線の王寺駅に勤務していました。そこで国鉄詩人連盟大阪詩話会に入り、詩の世界に触れました。サークル活動の活発な時代です。今度東京で、濱口さんのために集まろうとしている人達も当時の仲間が中心。皆さん80歳以上でしょう。濱口さんが関西にいたのは27歳から33歳までのほぼ6年。次々と仲間達と同人誌を創刊しています。お互いが、同僚とか同志といった言葉以上のもっと深い絆で結ばれていたようです。うらやましいくらい濃密な時間。それが亡くなって35年後の今日まで続いているのです。

濱口さんが金沢車掌区に転勤になったのは1953年、33歳の時。当時、内灘闘争で盛り上がっていた「北陸文学」に入り、書いていましたが、1961年「笛」を創刊します。「笛」は41歳の濱口さんと他4

人のメンバーで発足した詩の同人誌。創刊号の「あとがき」には、こうあります。

「笛はささやかな雑誌である。小さな音色であるが人人の心に笛としてのリズムを伝えたいと思っている。金沢にはいまのところ詩の雑誌が一冊も発行されていない。これは金沢の不幸でもある。笛を長く続けさせてしっかり勉強していきたいと思っている。」

当時、「笛」のほかに金沢大学内のグループに「いるか」という詩の同人誌があったようですが、詳しくはわかりません。ですから、この「あとがき」の言葉はそのとおりといってよいかと思います。「笛」は、来たい人がだれでも来てもよい開かれた場であったのです。現在、257号まで来ています。北陸一の長寿。濱口さんの願い通りになりました。

わたしが「笛」に入ったのは24号からです。たまたま会社の同僚が「笛」にいて誘われたのです。それまで職場の文化部で短歌をやっていました。安保闘争、ベトナム戦争と時代の状況は激しく、書き手もその頃が一番多かったのではないかしら。やがて60年代終わりか70年代のはじめ頃か、言語芸術派というか新しい詩の動きが出て来ました。わたしは吉増剛造さんや白石かずこさんなどのほぼ同世代か少し上の詩人に関心が行きました。

吉原幸子さんも好きでした。彼らはみな自作詩朗読に取り組んでいました。詩とはこんなにすごいものか、面白いものか、と目からウロコで、金大生の後輩たちと一緒に、「もっきりや」とか「ヨーク」とかで詩の朗読会を企画して、胸を躍らせていました。その後、自分でも朗読にとり組み、今も続いています。そういう仲間は「笛」にはいませんでした。濱口さんに「今度こんなことをやる」とわたしが伝えると、いいとか悪いなどとは言わず、「金は大丈夫か」とか、「会社(でのわたしの立場)は大丈夫か」とか、いつもそんな気遣いばかりしてくれました。亡くなった1976年1月20日の猛吹雪のその日も、今度吉増さんが来るから、とチケットを持って濱口さんに会いに行く約束の日だったように記憶しています。

「笛」の存続の危機は2回ありました。一度目は濱口さんが亡くなった時。まだわたしたちはみな30代で、どうしたらよいかわからなくておろおろしました。ただ、そのとき「北陸文学」の中村慎吉さんや、ミニコミ誌「つぶて」を出していた濱口さんの仲間達がいらしたので、その方たちが支えでした。そして「わしは鶴来の百姓や」と言い続けていた宮本善一さんが跡を継ぐ形となりました。同人のうち、男性たちは細々とした事務的なことや編集作業などは不得手で、女性たちが底力を発揮したところがあります。そのことが現実的に大きな力になったのではないかな。最終的に編集作業は持ち回りになりましたが。

二度目の危機は、その宮本善一さんが亡くなった時(2000年9月)です。濱口

コラム・古本挿絵に見る日本のかぶりもの(5)

市川寺白猿和尚述「念佛百首」口絵から。豊国画。文化三丙寅年版。同じ年の出版物に京伝『昔話稲妻表紙』、式亭三馬『船頭深話』。かんじんのかぶりものは布一枚風であっさりしているが、丸い突起のある鞆のようなものと、煙管の反対側、右手にもった物が気になる。



さんと宮本さんの関係は、それはもう親子以上の絆でした。その濱口、宮本と続く精神が途切れたのだから、もう「笛」はやめようという声もあったほどです。宮本さん(善さん)は農業の人。濱口さんは国鉄の現場が職場だったけれど宮本さんには、「おれは職場のことを書くが、善、お前は農業のことを書け」と、ずっと善さんを励まし続け、目に掛けていました。昨秋、石川県文芸協会主催の「濱口國雄にせまる」にあたって、宮本家から濱口さんから善さんへの手紙類を借りましたが、切々と胸を打つ内容でした。その宮本さんは1993年第26回小熊秀雄賞を受賞しています。続いて今年は同人の酒井一吉さんが第44回同賞を受けました。

当時例会は月1回。発行後、合評会に臨みます。月に一度というのは、今思えばすごい頻度。そんな会はないでしょう。でも当時はそういうものだと思っていました。北國新聞社や前の石川近代文学館で行われた例会で、いつも一番はじめに来て部屋で待っていたのは濱口さん。会費は後でいいから原稿出してくれて、いつも言っていました。みんな仕事も忙しいし遊びもしたい年頃だから、休みがちになったりもして、あるときは「出席者は2人だけなんだもの。だからもう濱口さんとダベっちゃった」という人もいて。でも一時期は40人ほどもいたのです。昭和40年代かな。

つまり、出て行った人も多いということです。新しい同人誌をつくったり、他誌へ行ったりと。わたしも「もし有名になりたいなら、あいつについて行くのがいい」と名指しで言われたこともあります。

今それぞれ別の場所で詩や文学をやっている方でも、昔は「笛」、という人は意外に多いのです。濱口さんは表向き、何もいいありませんでしたが、きっと悩んだ時期もあったのでは。

詩ってふしぎ。講座で詩をするときは、「だれでも書けますよ、とにかく書いてみることです」と言ったりしますが、たしかに詩を読む力や書く力って、教養とか知識とかに関係ない……。なんででしょう? なんでもない時にひょいと言葉が浮かんでくることがある。一瞬の勝負のような……。ただ、濱口さんの詩は少し違います。比喩やイメージでは作られていません。暗喩やレトリックとも無縁です。対象を直視するところから始まります。「中野重治君」と呼びかけ問題視された「最後の箱」なんて、記録的、映画的な手法。周りの状況が端的に書き連ねられているが、説明には陥りません。強い思いの裏付けがあるからでしょう。その強さが最後まで読者をひっぱっていくのではないのでしょうか。

2000年前後でしょうか。詩の世界で「なにを書くか」より「いかに書くか」という状態も極まり、戦後詩も遠くなりました。その頃、何を読んでもリアリティが感じられず、自分の感性が鈍ったのではと悩みました。詩は言葉の花束ではない、と思うが何をどこを目指せばいいのかと。一種の転換期だったかもしれません。そういう時期に故郷に帰るように濱口さんがいた! あの言葉の手応え、リアリティはいったい何だったのかと。同時に、戦争を知る世代が、年々少なくなってきたのを痛烈に感じました。「笛」同人

でも濱口さんを知らない人が半分。今こそ、この人の書いたものに目を向けるべき、と思いましたね。だれがあそこまで戦争や職場を書いたか、書けたか、と。それからしばらく「笛」内部の勉強会を経て、『新編濱口国雄詩集』の出版までにこぎつけたわけです。濱口さんを知らない若い世代から逆にいろいろと教えられました。彼らの方がよほど客観的にものを見られたのでは。

濱口の研究者？それが、いないのです。本当に残念です。本人を知っているとか、一緒に詩を書いたとか、そういうことは研究者の仕事とはまた別です。わたし自身そういう能力はありません。どうか誰か専門的に緻密に彼の詩を読み込んでくれる人がいないかと思いつけています。また、それぞれの持っている資料の問題もあります。残されたわれわれも高齢化しており、資料を散逸させるわけにはいきません。たとえばわたしは未刊の詩を集めてみました。「それは本人が選ばなかった詩なのだから、公にするべきではない」という仲間もいます。でも、資料的価値はある……。やっぱり誰かにわかってほしいし、持っていてもらいたい。後世誰かにぜひ研究してもらいたいから。東京での集会がきっかけになって「濱口国雄研究会」ができないかと心密かに期待しているところですよ。

東京では、いろいろと思いが語られ

ると同時に、地元劇団アンゲルスの月原豊さんが長編詩「地獄の話」を朗読します。これは昨秋金沢での「濱口国雄にせまる」のときに読まれ、圧巻でした。ぜひ東京でも、と願ったものです。この詩はほぼ400行、40分近くもあり、ニューヨークの密林で展開される飢えのすさまじさを詳細に描いたもので、書き始めから詩集になるまで14年もかかっています。濱口さんの第三詩集ですが、後世に残るものと信じています。

2011年8月インタビュー
第1回：茶房犀せい(片町)にて。
第2回：KUPPI(野町)にて。

濱口国雄 (1920-1976)

1920年福井県丹生郡国見村鮎川に生まれる。1940年富山第六九連隊に現役兵として入隊。1946年和歌山県田辺港帰着。復員。人夫、炭焼、臨時工員従事。1947年国鉄就職関西線王寺駅勤務。翌年、国鉄詩人連盟大阪詩話会に参加。1956年国鉄詩人連盟第五回国鉄詩人賞を「便所掃除」で受賞。第一詩集『最後の箱』、第二詩集『飢』、第三詩集『地獄の話』、第四詩集『勲章』。

▽「新編濱口国雄詩集」

新・日本現代詩文庫 65
土曜美術社 2009年 1400円

▽詩と詩論「笛」年4回発行 500円

取扱い書店 うつのみや
問い合わせ 076-263-0595 (井崎)

▽「いま濱口国雄を語る」

2011年11月23日 午後2時-4時半
武蔵野公会堂 参加費 500円
連絡先 03-3772-5095 (実行委員会)

Duckbill (ダックビル)

目録掲載品のお問い合わせ・ご注文は
 葉書・電話・FAX・電子メールでお願いします。
 ★蔵ゴ除は「蔵印ゴム印多数・除籍印あり」の意

◆◆◆◆◆ 地元歴史もの特集 ◆◆◆◆◆

- | | | | | | | |
|----|--|-----------------------------|-------------|-------------|------------------|--------|
| 1 | 石川県農地改革史 | 初、函、函少焼、焼 | 安倍秀次郎編 | 石川県農地開拓課 | 1957 | 20,000 |
| 2 | 石川県史 現代篇 全6巻 揃 | 函、函少傷、★蔵ゴ除 | | 石川県 | 1964 | 20,000 |
| 3 | 石川県史資料 近世篇(1) 芝居番付(一) | 函、函ペン書、★蔵ゴ除 | | 石川県 | 2000 | 2,500 |
| 4 | 石川県年表 昭和篇(4) 昭和44-54年 | 初、函、★蔵ゴ除 | 泉史編さん室 | 石川県教委 | 1981 | 2,000 |
| 5 | 石川県年表 昭和篇(5) 昭和55-63年 | 初、函、★蔵ゴ除 | 泉史編さん室 | 石川県教委 | 1993 | 2,000 |
| 6 | 石川写真百年 追想の図譜 2分冊 | 函傷、少焼、少傷、★蔵ゴ除 | 石川県写真史編纂会編 | 能登印刷 | 1979 | 3,000 |
| 7 | 石川県石油組合三十年史 | 初、函、函少シミ | | 石川県石油販売協同組合 | 1981 | 3,000 |
| 8 | 選挙結果資料(第1-5集)(第6-11集) 合本2冊、昭和24-34年 焼 | | | 石川県選管 | | 3,000 |
| 9 | 加賀能登金沢 和菓子づくし | | 井上雪/蔦健三絵 | オアシス | 1994 | 2,000 |
| 10 | 加能史料 既刊21冊揃 | 函、★蔵ゴ除 | 加能史料編纂委員会編 | 石川県 | 2010 | 80,000 |
| 11 | 風土 加賀と能登 | 初、焼、背傷 | 斎藤外二 | 宇都宮書店 | 1949 | 1,000 |
| 12 | 石川県銘文集成 近世初期金石文編(上)(下) | 初、函、函少傷、帯、★蔵ゴ除 | | 北国出版社 | 1971 | 3,000 |
| 13 | 石川県銘文集成 経巻・仏画編 | 初、函、函少焼、帯、★蔵ゴ除 | 櫻井甚一編 | 北国出版社 | 1973 | 1,500 |
| 14 | 図説 石川県の歴史 図説日本の歴史17 初 | | 高澤裕一編 | 河出書房新社 | 1988 | 1,500 |
| 15 | 邪馬壹国(所謂邪馬台国)諸問題の解決 | 初、★蔵ゴ除 | 肥田 政彦 | 肥田 政彦 | 1984 | 2,500 |
| 16 | 北陸一向一揆と謎の安芸法眼(上) | 初、函、焼、★蔵ゴ除 | 寺田弥吉 | 太陽出版 | 1970 | 2,000 |
| 17 | 東風に吹かれて 能登・加賀 | 初、★蔵ゴ除、少線 | 福野勝彦 | 回天蒼生塾 | 2006 | 2,000 |
| 18 | 日本海のロマン 伝承・文学にたどる北陸史 | 初、少シミ | 藤本徳明 | 中日新聞本社 | 1976 | 1,000 |
| 19 | 石川県農業委員会制度前史 農業委員会制度二五周年記念 | | | 石川県農業会議 | 1977 | 1,500 |
| 20 | 功業不磨 | 初、★蔵ゴ除 | 松本三都正編 | 日置謙功碑建設会 | 1969 | 2,500 |
| 21 | 本岡三千治伝 耕地整理法の創案者 | 初、函 | 本岡三郎 | 石川史書刊行会 | 1996 | 2,000 |
| 22 | 日本民俗誌大系(7) 北陸 | 初、函、函少焼、★蔵ゴ除、月報 | 宮本常一ほか | 角川書店 | 1974 | 1,200 |
| 23 | 人物紙芝居 第一部 | 初、焼 | 脇内泰雄 | 北陸政経新報社 | 1954 | 1,000 |
| 24 | 石川県全図 附金沢市街図 加賀温泉郷 | 53×38cm 初、少焼 | | 東京創文館 | 1953 | 2,000 |
| 25 | 南米石川県人写真帖 昭和40年3月 | 57頁、索引付 初、焼、★蔵ゴ除 | | 石川県海外協会 | 1966 | 8,000 |
| 26 | Ishikawa System-Approach Magazine 21 創刊号 | 特集: 雪化粧の文化論 | | 能登印刷 | 1988 | 2,000 |
| 27 | 写真集 石川百年 | 初、函、蔵印(函と本体) | | 北陸中日新聞 | 1989 | 5,000 |
| 28 | 石川県下商工便覧 限定 愛蔵版 限定66番 | 函、帙、★蔵ゴ除、付録 | | 十月社 | 1992 | 20,000 |
| 29 | 新日本分県地図 石川県 | 2枚セット、s36頃か 少焼 | | 日地出版 | | 1,000 |
| 30 | 加賀能登郷土図書叢刊 分売 | ★蔵ゴ除 | | 石川県図書館協会 | 1970-1972 | |
| | (い) 銭屋事件詮議留 | 3,000 | (ろ) 國事昌披問答 | 1,500 | (は) 旧條記 | 3,500 |
| | (に) 加賀藩初期の侍帳 | 13,000 | (ほ) 気多神社文獻集 | 4,000 | | |
| | (へ) 白山比咩神社文獻集 | 5,000 | (と) 白山所属争議 | 5,000 | (ち) 水戸浪士西上録 | 3,500 |
| | (り) 榊葉越枝折 | 1,500 | (ぬ) 芝居と茶屋町 | 2,000 | (る) 稗史集(上)(下) 2冊 | 6,000 |
| 31 | 八十年を歩む 創刊から現代まで | 發、社員集合写真付 | | 北國新聞社 | 1973 | 2,500 |
| 32 | 石川県将士の記録 | 初、函欠、少焼、少線、★蔵ゴ除、付図3枚 | | 石川県 | 1973 | 5,000 |
| 33 | 石川県史 全5巻 揃 | 1933年刊の複製 函、函傷、焼、★蔵ゴ除 | | 石川県図書館協会 | 1974 | 80,000 |
| 34 | 石川県史料 全5巻 揃 | 函、★蔵ゴ除 | | 石川県立図書館 | 1975 | 50,000 |
| 35 | 加能越山川記 | 綴綴、手書写、焼、シミ、蔵印 | | | | 5,000 |
| 36 | 石川考古学研究会々誌 第41号 | ★蔵ゴ除 | | 石川考古学研究会 | 1998 | 2,000 |
| 37 | 石川考古学研究会々誌 第42号 | 北陸の考古学 III ★蔵ゴ除 | | 石川考古学研究会 | 1999 | 4,000 |
| 38 | 石川県立郷土資料館要覧 | 焼、★蔵ゴ除 | | 石川県立郷土資料館 | 1968 | 1,000 |
| 39 | 九谷古窯跡発掘調査報告書 第1,4,5,6,7分冊 | 5冊 焼、★蔵ゴ除、書込 | | 石川県教育委員会 | | 10,000 |
| 40 | 魅せられて 能登の海 | 戦前の絵葉書に見る能登半島の海岸 カラー欠?、★蔵ゴ除 | 安達實 | 真柄教育振興財団 | 2002 | 2,500 |
| 41 | 竹太・ヤナギツボ遺跡 | | | 石川県穴水町教育委員会 | 1980 | 1,000 |
| 42 | 能登半島学術調査書 附図・能登半島海中公園調査報告 | 初、函、函少シミ | | 石川県 | 1965 | 50,000 |
| 43 | 石川県内浦町行延の珪化木群 | 99p、26cm ★蔵ゴ除 | | 石川県教育委員会 | 1990 | 2,500 |

Duckbill (ダックビル)

〒920-0167 石川県金沢市福島町 ヌ 103
 TEL.FAX 076-214-5950 メール books@duckbill.co.jp
 ★蔵ゴ除は「蔵印ゴム印多数・除籍印あり」の意

- 44 末代に栄え、末代に伝える 和倉温泉史 付録あり 函、★蔵ゴ除 大井昭平ほか編 児玉弘毅 2001 6,000
- 45 三井の大幡まつり 能登・輪島市 初、少焼、★蔵ゴ除 小倉学 大幡神杉伊豆牟比咩神社社務所 1970 2,000
- 46 能登島史叢 青銅庵私蔵文書 非売品。218頁 焼、★蔵ゴ除 田中政行編 七尾城史資料館 1970 5,000
- 47 岩佐家他文書目録/珠洲市の農具 館取蔵民俗史料図録一 焼、表書込 石川県立郷土資料館 1971 1,500
- 48 富来町史 全3冊 揃 函、少焼、★蔵ゴ除 富来町史編纂委員会ほか編 富来町 1977 12,000
- 49 新修 七尾市史 第9巻 海運編 函、★蔵ゴ除 七尾市役所 1999 3,500
- 50 図説 七尾の歴史と文化 新修 七尾市史 17 函、★蔵ゴ除 七尾市役所 1999 2,500
- 51 柳田村の集落誌 函、函少焼、★蔵ゴ除 原田正彰 石川県鳳至郡柳田村役場 1977 5,000
- 52 輪島町史 初、正誤表付、正誤表に少書込。函、焼、少シミ、★蔵ゴ除 若林喜三郎編 輪島町役場 1954 2,000
- 53 金丸村史 初、函、少焼、少シミ 若林喜三郎編 金丸村史刊行委員会 1959 12,000
- 54 穴水町十年誌 初、函、函傷、焼、★蔵ゴ除 石川県穴水町役場 1964 2,500
- 55 中居通称金屋の浜鋳物跡調査 B5版59頁 写真多数 石川県穴水町教育委員会 1981 3,000
- 56 能都町史 第1-3巻 全5巻のうち 函、★蔵ゴ除 能都町 1994 10,000
- 57 押水町史 附図2枚(袋入) 函、函少焼、函少傷、★蔵ゴ除 石川県押水町 1974 4,000
- 58 鹿島町史 資料編(続)(上)(下) 2冊、附図 函、★蔵ゴ除 石川県鹿島町 1984 5,000
- 59 石川県志雄町史 函、函焼、★蔵ゴ除 石川県志雄町 1974 5,000
- 60 内浦町史 全3巻 揃。折込図1枚 函、函少焼、★蔵ゴ除 石川県内浦町 1984 20,000
- 61 七つ尾 第24号 特集:長谷川等伯 ★蔵ゴ除 七尾城址文化事業団 2005 1,000
- 62 赤浦遺跡 七尾市松百町所在縄文遺跡 ★蔵ゴ除 七尾市教育委員会 1977 4,000
- 63 輪島市史 第2巻-第7巻 6冊 函、★蔵ゴ除 輪島市史編纂専門委員会編 輪島市 1976 20,000
- 64 石川県高松町史 函、★蔵ゴ除 川良雄監修 石川県河北郡高松町 1974 2,500
- 65 津幡町史 函、★蔵ゴ除 津幡町史編纂委員会編 石川県津幡町役場 1974 3,500
- 66 二口かみあれた遺跡 ★蔵ゴ除 石川県志雄町教育委員会 1995 4,500
- 67 二口かみあれた遺跡第2次 ★蔵ゴ除 石川県志雄町教育委員会 1999 3,000
- 68 金沢市街地図 地名索引付 1枚 少焼、傷 池亮吉 福音館 1961 1,500
- 69 金沢御堂・金沢城調査報告書 (I) 2分冊、付図あり 初、函、★蔵ゴ除 石川県教育委員会 1991 6,000
- 70 北長家騒記の研究 初、函、★蔵ゴ除 角島一治 角島一治 1996 2,500
- 71 内川の郷土史 函、函焼、★蔵ゴ除 川良雄 内川村史発刊委員会 1971 1,500
- 72 金沢金工師 水野源六家史料 函、★蔵ゴ除 黒川威人編 橋本清文堂 1996 7,000
- 73 金沢市史現代編 続編 初、函、★蔵ゴ除 金沢市史編さん委員会編 金沢市 1989 5,000
- 74 金沢市史 資料編 函 金沢市 1996 各4,000
 (1)古代・中世1 (3)近世1 (4)近世2 (8)近世6 (11,12)近代編1,2 8,000
 (13)寺社 (16)美術工芸 (17)建築・建設 (19)考古
- 75 金沢市年表稿 明治篇 市史編さんのためのカリ印刷 焼、背少傷 金沢市々史編纂委員会 4,000
- 76 金沢市町会連合会 結成四十周年記念誌 初、函 金沢市町会連合会 1997 2,000
- 77 悠久の流れ 鞍月 金沢市編入五十周年記念誌 函、★蔵ゴ除 鞍月校下連合町会、鞍月公民館 1986 1,000
- 78 このはな 此花町小学校の歩みと地域発展の譜籍 函 此花町小学校閉校記念事業実行委員会 1997 2,000
- 79 忘れられない人 あなたの生くべき姿を鮮烈に描く 八田与一伝記 ★蔵ゴ除 謝新發 1987 1,500
- 80 百万石まつり 35年のあゆみ ★蔵ゴ除 高桑美術印刷編 実行委員会 1987 3,000
- 81 戸板のあゆみ 金沢市金石地区 函、★蔵ゴ除 戸板村金沢市編入50周年記念事業委員会 1995 3,000
- 82 長坂町の年輪 初、函欠、★蔵ゴ除 長坂第一土地区画整理組合 1977 2,000
- 83 老舗百年 初、函欠 金沢商工会議所 1981 1,200
- 84 金沢 市制百周年を記念して 初 金沢市 1989 1,500
- 85 のれんが“粋づく”あきない街 拾の物語り 老舗の街尾張町史にかえて 尾張町商店街振興組合 1991 1,000
- 86 長田のあゆみ 函、ゴム印 長田町校下まちづくり委員会ほか 1998 2,000
- 87 観光のかなざわ(絵はがき16枚) 卯辰山上ヘルスセンターほか ケース入。少焼 3,500
- 88 武家屋敷寺島蔵人邸跡所蔵品図録 ★蔵ゴ除 金沢市文化財保存財団 1995 1,500
- 89 研究紀要 金沢城研究 第2号 ★蔵ゴ除 石川県教育委員会文化財課金沢城研究調査室 2004 3,500

Duckbill (ダックビル)

目録掲載品のお問い合わせ・ご注文は
 葉書・電話・FAX・電子メールでお願いします。
 ★蔵ゴ除は「蔵印ゴム印多数・除籍印あり」の意

- 90 金沢市文化財紀要 少焼、★蔵ゴ除 金沢市教育委員会
 (14) 金沢市北塚遺跡 少赤線 1977 1,000 (32) 金沢市二口六丁遺跡 1983 2,000
 (34) 金沢市新保本町チカモリ遺跡 遺構編 141頁、26cm 表紙書込 1983 3,500
 (73) 昭和62年度 金沢市埋蔵文化財調査年報 1988 1,000
 (81) 金沢市八日市サカイマツ遺跡 1990 1,500 (85) 金沢市新保本町東遺跡 1991 1,500
 (91) 瓢箪町遺跡 55頁、26cm 1991 1,500 (98) 金沢市沖町遺跡 187頁、26cm 1992 3,000
 (158) 金沢市内遺跡発掘調査報告書 I 2000 1,500 (159) 正部・薬師遺跡 2000 1,500
 (160) 戸水遺跡群 II 戸水大西遺跡 I 316頁、30cm 2000 3,500
 (161) 金沢市田上本町遺跡 30頁、30cm 2000 1,000
 (162) 金沢市田上西遺跡 田上遺跡群 I 113頁、30cm 2000 1,500
 (163) 石川県金沢市神野遺跡 I 2000 1,000 (164) 金沢市打木町東遺跡 2000 2,500
 (165) 石川県金沢市上荒屋遺跡 IV 中世・馬具・馬具・木簡・木製品 2000 2,500
- 91 旭郷土史 石川県松任市 初、函、少シミ 旭郷土史編纂委員会 旭公民館 1979 4,000
 92 加賀三浦遺跡の研究 初、焼、★蔵ゴ除 石川考古学研究会 県教委、松任町教委 1967 5,000
 93 二塚郷土史 初、函、★蔵ゴ除 編集委員会編 二塚農業協同組合 1978 5,000
 94 石川県尾口村史 全3巻 揃 初、函、★蔵ゴ除 編纂専門委員会編 尾口村役場 1981 10,000
 95 川北村史 函、★蔵ゴ除 編纂委員会編 石川県能美郡川北村役場 1970 4,000
 96 手取川大水害復興五十年誌 初、函、★蔵ゴ除 川北町水害誌編纂委員会 川北町役場 1984 4,000
 97 根上町史 初、函、函少焼、★蔵ゴ除 川良雄 根上町公民館 1974 2,000
 98 桑島の里 石川県石川郡白峰村字桑島 初、函、★蔵ゴ除。付図1枚 桑島区編 桑島区 1978 3,000
 99 美川町政史 函、函焼、★蔵ゴ除 佐々木浩、海野憲二編 石川県美川町 1974 3,000
 100 加賀藩十村役 田辺次郎吉 十村役の実像を求めて 初、函、★蔵ゴ除 清水隆久 刊行会 1996 5,000
 101 新修小松市史 資料編5 曳山 CD-ROM付 函 編集委員会編 石川県小松市 2003 4,000
 102 新修小松市史 資料編8 幕領 函 新修小松市史編纂委員会編 石川県小松市 2008 4,000
 103 園町の歴史 石川県小松市 函 園町史編纂委員会編 園町町内会 1979 3,000
 104 宿場町 高島の昔むかし 初、函欠、★蔵ゴ除 中橋達夫 能登印刷出版部 1999 3,500
 105 橋立町史 石川県加賀市 函、★蔵ゴ除 橋立町史編纂委員会 1997 6,000
 106 館畑のあゆみ 石川県石川郡鶴来町 初、函欠?、少焼、少シミ 編纂委員会編 館畑公民館 1974 3,500
 107 辰口町史 第1巻 自然・民俗・言語編 全5巻の一 初、函 石川県辰口町 1983 3,000
 108 美川町文化誌 初、函、函焼、★蔵ゴ除 美川町文化誌編纂委員会 美川町役場 1969 3,000
 109 寺井町史 初、函、シミ、少赤線、記名 横山辰次郎編 寺井町役場 1967 2,500
 110 寺井町二十年誌 初、函、★蔵ゴ除 寺井町二十年誌編纂委員会 寺井町企画広報課 1976 1,000
 111 寺井町史 全3冊 揃 ★蔵ゴ除 寺井町史編纂委員会 寺井町役場 1994 7,000
 112 白峰村史(上) 上のみ 函、★蔵ゴ除 若林喜三郎責任編集 白峰村役場 1982 7,000
 113 加賀市史 全6巻 揃 函、★蔵ゴ除 加賀市 1979 50,000
 114 小松天満宮誌 初、★蔵ゴ除 小松天満宮 1982 3,000
 115 加賀吉野祇陀寺の歴史 初、函、★蔵ゴ除。地図付 吉野谷村教育委員会 1994 3,500
 116 大領中町々史 石川県小松市 初、函、★蔵ゴ除 大領中町町内会 2000 2,500
 117 内灘町戦没者記録誌 初、函、★蔵ゴ除 内灘町社会福祉協議会 1993 3,500
 118 内灘郷土史 初、函、函焼、★蔵ゴ除 中山又次郎 内灘町役場 1963 5,000
 119 内灘町史 附図1枚 函少焼、★蔵ゴ除 石川県内灘町 1982 6,000
 120 手取川七ヶ用水誌(上)(下) 附図全11枚のうち10枚付 函、函少焼、★蔵ゴ除 手取川七ヶ用水土地改良区 1982 10,000
 121 新修根上町史 全4冊 揃 函、★蔵ゴ除 石川県能美郡根上町役場 1994 10,000
 122 辰口町史 第1-4巻 全5巻のうち4冊 函、★蔵ゴ除 石川県辰口町 1975 12,000
 123 富山県史 民俗編 初、函、★蔵ゴ除 富山県 富山県 1973 13,000
 124 福岡町史 富山県 初、函、函少焼、★蔵ゴ除 福岡町史編纂委員会 福岡町役場 1969 3,500
 125 市報おやべ縮刷版 第1巻 初、函、函少焼 小矢部市秘書広報課編 小矢部市 1992 3,000
 126 氷見百年史 初、函、函焼、★蔵ゴ除 氷見百年誌編纂委員会 氷見市役所 1972 4,000